

労働者の取り分が減っている？

グローバル企業をもたらす影響

鈴木徳馬

東京大学大学院経済学研究科修士 1 年

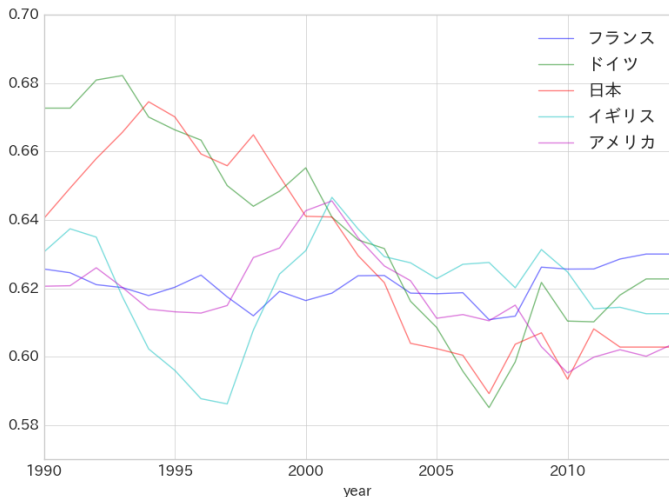
労働者の取り分？

- 労働者の取り分とは何を示しているのだろうか？
- GDP に関連した労働分配率という概念で定義！
- **GDP**
ある期間に国内で生産した財・サービスの付加価値の合計
 - 財やサービスは労働力と資本 (機械) を用いて生産されると考える。
- 労働分配率 (労働者の取り分)
GDP のうち労働者に分配される比率を示す指標。

今日考えたいこと

- 1 労働分配率はどのように変化しているのか？
- 2 そもそもなぜ労働分配率に注目するのだろうか？
- 3 労働者の取り分はなぜ減っているのだろうか？

労働分配率は先進国で近年低下傾向

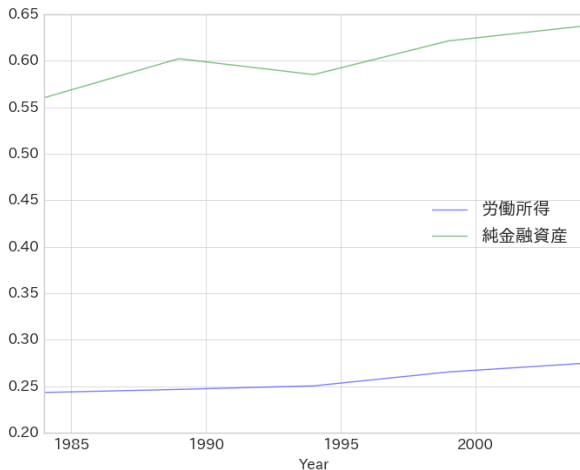


出所: Penn World Table 9.0

なぜ労働分配率は大切なのか

- 労働分配率の低下が格差の拡大を導くかも…
- 実は労働所得の格差は資産の格差よりも小さい！
- 格差拡大のメカニズム
 - 1 労働分配率の低下は資本への分配の増加を示す
 - 2 それにより資産を多く持つ人の取り分が増える
 - 3 資産が少ない人には恩恵が小さい
 - 4 国内の格差がさらに拡大。

平均家計におけるジニ係数 (格差) の変化



出所: Lise et al.(2014)

なぜ労働分配率は低下傾向にあるのか？



- 巨大なグローバル企業の影響ではないか？
 - 1 利益が多いが労働分配率は低い
 - 2 そうした企業が経済に占めるシェアが増加
 - 3 経済全体の労働分配率が低下？

仮説から考えられる以下の問いをデータを用いて検証。

1. 売上の集中度の高い産業ほど労働分配率が低い
2. 労働分配率の低下は既存企業の構成の変化の影響が大きい

集中度と分配率の関係

- 回帰分析と呼ばれる手法を用いて関係をチェック
- 売上集中度の指標:
 - 各産業のトップ4社の売上げが何%か
- 各産業の労働分配率の5年間の変化に売上げ集中度の変化がどれだけ影響を与えたかを分析！
- 売上集中度が高まるほど労働分配率が低下！
- 様々な要因を考慮してもこの関係が存在する。

分配率低下の要因分解

- 労働分配率の変化は次の4つの要素に分解できる！

労働分配率の変化 = 退出しない企業の平均労働分配率の変化
+ 退出しない企業の構成の変化
+ 既存企業の退出による効果
+ 新規企業の参入による効果

製造業における要因分解の結果



出所: Autor et al.(2017) 一部改変

製造業における要因分解の解釈

- 平均労働分配率の変化は小さい
- 構成の変化が大きな影響を与えている！
 - 一部の企業の変化が労働分配率を大きく下げている
- 退出企業は労働分配率の低下に貢献
 - 高い労働分配率の企業が多く退出
 - 一般的に収益性が低いことを示す
- 参入企業の存在が労働分配率を高めている
 - 市場シェア獲得のため利益率を下げていることから、売上に占める人件費が高くなる。

まとめ

- グローバル企業が労働分配率に与える影響を分析
 - 売上集中度が高いほど労働分配率は低下している
 - 労働分配率の低下は既存企業の構成の変化の影響が大きい
 - 特に分配率の低い企業のシェアの増加による影響が大きい
- 労働分配率の低下に関する分析は始まったばかり。
 - 三好 (2018) が様々な分析を紹介
- まだ分かっていないことが多い！
- それが経済学研究の面白いところかも。